

シリーズ  
**43**  
和納9区

# 静けさが優しい街並

■今月の「おじゃまします」—地域情報ネットワーク—は、その静かで落ち着いた環境は村内でも屈指の地区で、いま地区内に根ざした交流の輪が大きく育ってきた和納9区におじゃましてみました。

「昭和61年に区長を仰せつかって5年目ですが、自分でもよくやってこれたと思ってるんですよ、といいますが、昭和60年、病を患い自宅療養していたころ、体調が回復したのを機に推されてこの役についたといういきさつがあるもんですから」。あのころは、



西川に沿ってひらける和納9区。水と緑に囲まれた環境は抜群。

わからないことばかりで不安でしたが、おかげ様で今では区の方々の積極的な協力をいただいで、ようやく落ち着いた地区をながめることができるようになりました。」とこれまでの経過をふり返り、思い起こしながら、静かに、かみしめるように話してくれるのは猪股寅雄区長（67歳）さんです。

和納9区は、本村からみて南に位置し、東は西川を隔てて和納1区と西側は和納11区に面しており、その形はまるで船のようです。

昭和39年に和納地区としては最初の住宅団地として造成された地区で、現在では53世帯人口170人の街です。

特色は、西川に架る童子橋、新栄橋など二つの橋があり、水と緑に囲まれて弥彦、多宝の山々が一望できる高台の環境にあるということが出来ます。

「住んでみると本当にいいところですよ、幸い、この団地は近隣の人たちが集まっていた村の状況を知っている方も多く、理解はあります。また、今が働き盛りという世帯がほとんどで昼間は留守の世帯が多いので、地区を巡りながら、何かあれば伝えることも私の大きな役割であるような気がします。」という言葉からは町内の交流をできるだけ大切にしていきたいという心の一端が伺われます。区としての動きは、正月の初寄り合いには



自然環境がととても優しい和納9区。

じまり、2月には新年会で懇親を深める機会をもっているほか、老人クラブは2区と合同でゲートボールや親睦旅行を、子ども会は年間を通した行事は活発です。物の豊かさの中にあつて、とかく忘れがちな人への思いやりとか優しさとかいうことはやはりこうした生活に根ざした地区の交流から培われるという考え方で活動を見守っているそうです。



和納9区区長  
猪股寅雄さん  
(67歳)

「造成当時は畑地にそのまま道路をつくり側溝をつけて宅地化したため、大雨の降る度に水があがり苦勞させられた思い出もありますが、村で排水溝の整備を年次的に進めてもらい更に改善されることになり喜んでいきます。また、話は変わりますが、深夜、爆音をとどろかせて暴走するバイクには困ったもんですね。一過性なんだろうが、みんなの力でなんとかしなければなりません。」と常に視点は全体の立場に立っています。人は街をつくり、街は人をつくる、といわれますが、和やかな人、静かで落ち着いた環境は、まさに、このことがピッタリの和納9区です。

**初心者ワイプロ教室**  
—参加者募集—  
公民館では、初心者ワイプロ教室の参加者を募集します。  
▼火曜日と木曜日のコース：10名  
11月5、7、12、14、19日  
▼水曜日と金曜日のコース：10名  
11月6、8、13、15、19日  
□時間：各日とも午後7時～9時  
□対象：中学生以上の村民または村内在勤者  
□会場：岩室村公民館  
□受講料：1,500円  
※申込み・問合せは、10月25日までに公民館（☎82-1444）へなお定員になり次第締め切ります。

**交通災害共済見舞金の請求は忘れなく**  
みなさんから「一日一円保険」として加入いただいている交通災害共済。この交通災害共済の見舞金の請求は、事故が発生した日から一年以内です。見舞金の請求は、一年を経過しますと給付されませんので、もし事故などにあわれたかたは、忘れずに一年以内にご請求ください。

なお、この交通災害共済についてのお問い合わせは、役場観光商工課（☎82-1411）内線（二三）までお気軽にどうぞ。

■広報紙いわむろ 第三五四号 平成三年（一九九一年）十月一日発行（毎月一回）日発行 ■発行 岩室村役場 ■編集 総務課 ■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇（九五三〇） ☎〇二五六一八二四二（一）代 ■印刷 北洋印刷